

事業目的

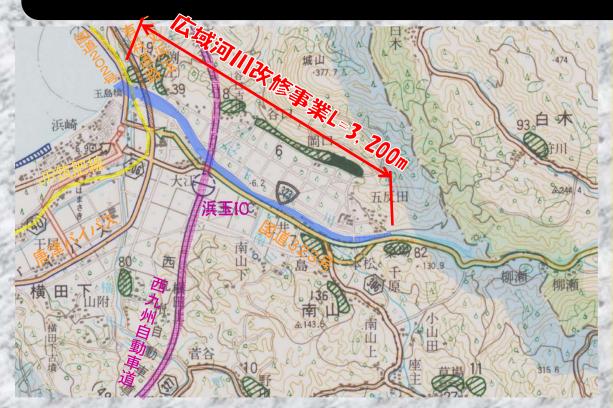
〇流下能力不足による浸水被害が発生

平成3年9月洪水 浸水戸数 床上浸水34戸 床下浸水65戸

<u>〇浸水被害の軽減を図る</u>

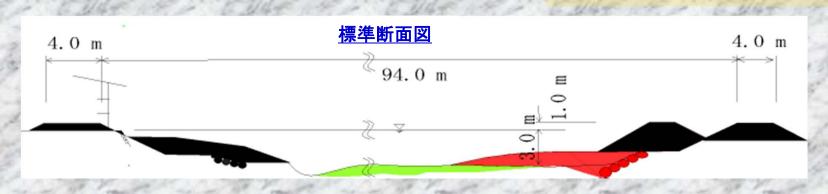
- •河道拡幅、河床掘削を実施
- 治水安全度の向上を図る計画流量 550m³/s計画治水安全度 1/30

玉島川広域河川改修事業 着手年:昭和55年度 事業地:唐津市



〇事業概要

- -全体事業費 4,402百万円
- •事業期間 S55~H29
- •改修延長 3,200m
- •計画流量 550m³/s
- •計画治水安全度 1/30
- ·築堤·掘削·護岸、 橋梁3基、JR橋1基 堰1基
- •費用対効果 2.91



玉島川 航空写真



〇事業進捗状況

- ・河口から梅豆羅橋下流までの約3,000mの改修を完了。
- ・H21年度末進捗率 87.7%(事業費ベース) ・年平均進捗率 2.9%

費用対効果 B/C

総費用額C:治水施設の整備及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 8,698百万円

総便益B:25,341百万円

内訳

•一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)

1,538百万円

•農作物被害(水稲、畑作物)

21,946百万円

·公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)

1,591百万円

・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)

197百万円

•残存価値(築堤、護岸構造物、用地)

69百万円

※ 費用対効果

B/C = 25,341 / 8,698 = 2.91

平成3年9月(台風第17号)玉島川





下流部完了区間状況





今後の 「玉島川広域河川改修事業」 の継続について

- ☆河川改修の効果☆
 - ①治水安全度の向上
 - ②平成3年9月洪水による 床上浸水 34戸 床下浸水 65戸 の軽減
 - ③地域住民の安心・安全の確保
- ☆今後の事業展開☆
 - ・事業を継続し、早期完成を図りたい